

人権啓発イベント

多様性の中に隠れている 見えない境界線

認め合うことから
はじめませんか

Why not start by acknowledging each other?

1月24日 2023
火曜日

13:30-16:30

(開場：12：45～)

鯉城ホール

伏見ライフプラザ5階

名古屋市中区栄1-23-13

参加無料

定員200名
申込先着順



申込フォーム

イベント内容

短編映画「TINAの物語」

基調講演「多様性の中に隠れている見えない境界線」

パネルディスカッション「認め合うことからはじめませんか」

短編映画・基調講演

(午後1時40分～午後3時)

「TINAの物語」(短編映画)

フィリピンで生まれた普通の女の子が親の都合で来日。日本で生活することを強いられてしまい、環境の変化により価値観が自然と変わっていく。新しい環境の中で自身の存在意義を模索しながら、自分の母親に対して見えない境界線を引いてしまい、気が付けば、母と娘の間に溝が深まっていく。日本に呼び寄せた母親と呼び寄せられた娘の葛藤の物語。

「多様性の中に隠れている見えない境界線」

(基調講演)

短編映画の内容をもとに、無意識に外国人との間に引いてしまう境界線について、イベント参加者に「自分ならどうしただろう」という自分自身への問いかけを促しながら、「多様性とは何か」「認め合うためにはどうすれば良いか」等について考える。



伊藤 クリスティーナ氏

BriAsia合同会社 代表

両親の都合により、14歳の時にフィリピンから来日。独学で日本語を習得し、フリーランスのフィリピン語通訳者として活動を始める。2016年にBriAsia合同会社を設立し、通訳・翻訳業務、外国人の学習生活自立支援を行う。

パネルディスカッション

(午後3時10分～午後4時20分)

「認め合うことから始めませんか」

私たちが「多様性」と言うとき、多様な言語や文化を本当に尊重できているだろうか？知らず知らずのうちに「誰を『こちら側』、誰を『あちら側』とみなすか」という見えない境界線を引いていないだろうか？私は「そんなことしない」とは言い切れないのではないだろうか。ディスカッションを通して、自分の見えない境界線を見つめ直すきっかけを作る。

コーディネーター

金箱 亜希氏 (愛知県尾張教育事務所 語学相談員)

パネリスト

村山 グスタボ 秀夫氏 (Man To Man株式会社 マネージャー)

ラリアマ クマラ デウィ氏 (インドネシア語通訳)

菊池 健二氏 (愛知県海部教育事務所 語学相談員)

アミ ウル ハッサン氏 (ウルドゥ・パネジャブ・ヒンドゥ語通訳)

伊藤 クリスティーナ氏 (BriAsia合同会社 代表)

総司会

神田 すみれ氏 (多文化ソーシャルワーカー)

ご参加時のお願い

新型コロナウイルス拡大防止の観点から、手洗い、マスクの着用などの対策にご協力をお願いします。熱がある方、体調のすぐれない方は、入場をご遠慮ください。



申し込み方法

下記URLの申し込みフォームに必要事項を記入の上、お申し込み下さい

<https://forms.gle/bAtsHkkg8U4FCLg2A>

申込期限 2023.1.20(金)

いただいた個人情報は当イベント以外では使用しません。



アクセス

地下鉄「伏見」駅6番出口より南へ徒歩7分

地下鉄「大須観音」駅4番出口より北へ徒歩7分



問合わせ

愛知県県民文化局人権推進課

☎ 052-954-6167

✉ jinken@pref.aichi.lg.jp